

～ 森から川へ そして海へ ～

飛騨金山 七河川合流博覧会

＜プログラム第3弾＞

長寿の源 鯉

～ 筋骨めぐりと鯉に恋する福寿美お座敷遊び～

2013年10月25日（金）

筋骨ガイドが案内する

 **第1部 筋骨めぐりで河川文化を探る！** 15時30分～17時
～馬瀬川・益田川合流地点・大船渡の渡・魚観音編～

飛騨金山の複雑に絡み合った細い路地裏通り“筋骨めぐり”を体感しながら、七河川合流博覧会のテーマデザインとなっている河川合流地点を散策し、大船渡の渡、魚観音を眺め河川文化を探ります。

また、金山町で釣れる和鯉と川ゴイの水槽展示を見ながら、鯉が棲める川環境を学びます。

集合場所：ドライブイン飛山（下呂市金山町金山1885-3）


集合時間：15時 参加費：300円

 **第2部 <関連行事> 鯉料理とお座敷遊び** 18時～20時

※以下の行事は自由参加、希望者のみ

筋骨めぐりの一画に位置する「旅館福寿美」の幻想なる遊郭風お座敷で、七河川で釣れた鯉の活き作りを前に馬瀬の森本富美子さんの津軽三味線、津軽手踊りとともにお座敷遊びの空間を味わいながら、参加者の健康を祈念します。

 **お料理** ○ 鯉の活き作り（洗い）・鯉こく ○ 福寿美の魚 & きのこ会席料理
○ 手打ちそば（おおふくや） ○ 秋のお酒（高木酒造）

 **魚食講座** ○ 飛騨川の幻の鯉釣り「手縄釣り」を語る！
○ 現代の鯉養殖について
○ 長寿の源 鯉について

参加費：8,000円（料理・アルコール・お座敷遊び代総込み）

会場：旅館福寿美（下呂市金山町金山2132-1 TEL0576-32-2015）

定員：30人

＜ 宿泊を希望される方へ ＞

金山町内にある『旅館福寿美』『道の温泉駅かれん』『民宿金山荘』の3カ所で受付けます。御相談ください。

主催 飛騨金山七河川合流博覧会実行委員会（実行委員長・長尾伴文）
事務局／馬瀬川下流漁業協同組合館内（下呂市金山町祖師野399-2）
問い合わせ／長尾伴文 090-8736-7318 長尾信行 090-7304-4157

協力 馬瀬川上流漁業協同組合 馬瀬川下流漁業協同組合 益田川漁業協同組合
飛騨川漁業協同組合 和良川漁業協同組合 和良川の鮎を守る会
ひだ金山まちづくり協議会 金山町観光協会

＜この事業は下呂市の地域振興事業補助金を受けています＞

飛騨金山 七河川合流博覧会とは

飛騨金山は「境橋」が実在するように江戸時代から藩領境にあり、郡制では武儀郡、郡上郡、益田郡、加茂郡に所属してきたと同時に河川の合流地点にあるという特殊な地勢に位置します。

七河川合流博覧会では飛騨金山に合流する七河川とその流域集落に息づく独自の風土を魚食・伝統漁法・網場・魚皮拓 & 釣りキチ三平の4テーマから季節とともに体感・体験できる小規模なプログラムを複数設定し、一定期間内に提供するイベントです。

全体的には普段着の生活感を出しながら、継続発展性を持たせます。

主催者とプログラム実行者は与えられる気持ちではなく、自らが企画内容を提案できる魅力発信デザイナーとなり、お客様と一緒に河川の合流が森から川へ、そして海へつながっていることを意識しながら、新しい河川文化を創り上げていく姿勢で取り組みます。

飛騨金山に合流する七河川とは

馬瀬川 戸川 和良川 弓掛川 益田川 飛騨川 菅田川

(飛騨川は金山町以北を益田川、金山町以南を飛騨川と呼ぶことで分けする)

プログラム開催期間

2013年8月～2014年3月

プログラム実行者 (2013年7月15日現在)

- | | | | |
|------------|-------------|--------|-----------|
| ○旅館福寿美 | ○魚忠 | ○おおふくや | ○道の温泉駅かれん |
| ○民宿金山荘 | ○高木酒造 | ○七福山 | ○上出屋 |
| ○見附屋旅館 | ○ぎふ魚食文化サロン | | |
| ○森のなりわい研究所 | ○岐阜の川人文化研究会 | | |



写真:金山橋から眺める馬瀬川(左)、益田川(右)合流点